



Vol.84 H29.7.26 発行
(2017年)

+ 舞鶴赤十字病院

日本赤十字社
Shimane Red Cross Hospital

編集発行：舞鶴赤十字病院
〒624-0906 京都府舞鶴市宇倉谷427
TEL 0773-75-4175 <http://maizuru.jrc.or.jp/>

もくじ
CONTENTS

- 巻頭言 P2
- 人事だより P3
- 読者のコーナー P5
- 職場紹介 P3
- トピックス P4
- 外来診療担当医表 P6
- お知らせ P3
- インフォメーション P5
- 編集後記 P6

猿尾滝

撮影／第2リハビリテーション課長
水嶋 祐史



ここのらの地名

舞鶴赤十字
病院編 その45

舞鶴市文化財保護委員
舞鶴地方史研究会会長
加藤 晃様



豊池 [とよいけ]

上福井は昔から水不足で悩んできました。そこでたびたび藩に願い出て、建地峠に貯水池を作ることになりました。家老の林六三郎が指揮をとって作ったのですが、完成間際に崩落してしまいました。そこで尾張の専門家集団黒鋤者を招き、隣の上東も協力して、文化9年(1812)にようやく完成したのです。

桂貯水池 [かつらちよすいち]

舞鶴に海軍鎮守府が開設されることになり、それに伴って水道施設が作られ、明治34年に給水を開始しました。桂は小字名で、崖地のこと。桂貯水池の堰堤などが近代化遺産として、平成15年国の重要文化財に指定されました。水門には、舞鶴出身の海軍次官伊藤雋吉が揮毫して「清徳霊長」と刻まれています。

佐織谷池 [さおりだにいけ]

佐織は狭い下り道のことで、建部山から下りてきた山道につながる下東の谷です。そこにため池があります。(ため池百選) 由良川の水は海水が逆流してくるため、農耕に使えないのです。ため池のほとりに安寿姫塚と呼ばれて、宝篋印塔ほうきやくいんとうが早くから祀られています。非業の死を悼んで、安寿姫の慰霊祭が行われています。



「何をしたか」ではなく、「何のためにしたのか」

この巻頭言に寄稿するのは、二回目となります。昨年、ごあいさつにも書きましたが、私の趣味の一つに山登りがあります。いわゆる山岳警備隊から危険人物と目されている「中高年登山者」の一人として、北アルプスなどの山々に登っております。その中に、まだ登っておりませんが、憧れの山、「岩と雪の殿堂：^{つるぎだけ}劔岳」があります。



劔岳

劔岳は、新田次郎原作の「劔岳・点の記」という映画の舞台となりました。この映画は、ほぼ実話を下敷きにしたもので、空撮やCGなしのリアルな映像の美しさと、登山をしながらの俳優陣の熱演が印象深い作品です。

明治末期、陸軍参謀本部陸地測量部（現国土地理院）の測量官柴崎芳太郎に、日本地図最後の空白地帯を埋めるため、未踏峰とされてきた劔岳への登頂と測量の命令が下ります。しかし、劔岳を死の山と恐れる地元住民の反発や行く手を阻む切り立った尾根と雪崩の恐怖、更には日本山岳会との登頂争いとして新聞社が騒ぎたてる等、多くの困難と戦いながらの測量となっていきます。

日本山岳会のメンバーは、最新の登山技術と道具を用い、登頂を目的としてチャレンジする。一方、測量部の男達は、測量のための三角点を設置し、地図の空白を埋めるという目的のために登頂を目指します。同じ劔岳登頂を目指しても、根本的に目的が違ったのです。

結局、測量部が先に登頂を果たしますが、休む間もなく、彼らは山頂に三角点を設置し、黙々と

測量していきます。後に続いた山岳会のメンバーも、最後には、測量部の男達が力を合わせながら真摯に仕事に向かい合う姿に最大級の敬意を払うのでした。

映画の中にこんな言葉が出てきます。「『何をしたか』ではなく、『何のためにしたのか』が大事なのだ。」この言葉から、また映画全編から、仕事というものの“本質”を教えられたように思います。「何かのため」「誰かのため」という確かな目標を持ち、それを達成しようと努力することが大切なのだ・・・。

少し強引ですが、これを当院に置き換えてみましょう。

当院は何のために存在するのか、当院の大きな目標とは何なのか。

抽象的な表現になりますが、やはり、当院を頼りにされている患者の皆さんの役に立つこと、舞鶴地域ひいては京都府北部の地域医療を守ること、それが当院の存在意義であり、大きな目標になるのではないのでしょうか。

しかし、まず病院として存続し続けなければ、その大きな目標も達成できないのです。病院として安定した経営を確保し、持続可能な実力を身につけることが大切ではないのでしょうか。それには、職員みんなでベクトルを揃え、それぞれの担当部署で、個々の力を最大限発揮する。そして患者の皆さんの信頼を得る。それ以外ないと思います。

幸い、ここ2年ほど、当院の決算状況は悪くありません。これも職員の皆さんのがんばりあっての結果と感謝しております。しかし、今年度から医師も減り、来年度の診療報酬改定に向け、もう一度当院のあるべき姿を検証するとともに、みんなで新しいことにも前向きにどんどん取り組みたいものです。私も微力ながら精一杯努めるつもりです。

道は険しく、急登はまだまだ続きますが、みんなで目標をしっかりと持ちつつ、より高い頂を目指していきましょう。

職場紹介 こんにちは 栄養課 です!



● 文 調理師 宮田 美子
みやた よしこ

私たちを見かけたら声をかけてくださいね!

皆さんこんにちは。私達栄養課は、管理栄養士4名、調理師8名、調理助手7名で患者食・院内保育食・当直食の調理、栄養管理に加え2年前からは舞鶴市民病院の患者食の提供を行っています。

管理栄養士は献立、発注、食数の管理、入院患者さん一人一人の栄養状態・病態に合わせた食事内容の検討、栄養指導等を行っております。

病院食は食事の種類が病態に合わせて細かく指示があり、数年前から個別対応の食事が多様化し、アレルギー禁止食品も多いため、その対応に調理師は毎日多くの時間を費やしています。患者さんから「美味しかった」という声やねぎらいの手紙をいただいた時、院内保育園の先生や保護者の方から「よく食べるようになった」「野菜が食べられるようになった」などの声をいただくと、とても嬉しく励みになります。

入院中の方には食事を美味しく食べていただき、早くよくなって退院されることを願い、外来通院中の方へは栄養食事指導によって治療効果が上がることを目指し、これからも栄養課一同頑張っていきます。

栄養課へご意見、ご要望がありましたらいつでもお聞かせください。



お知らせ

小児科外来の診療を再開いたします

平成29年4月から休診していました小児科外来診療を、平成29年8月1日から再開いたします。

小児科の診察時間は、当分の間月曜日から金曜日までの午前・午後といたします。

日中のみ診療とし、時間外診療はございません。



人事だより

Personnel Changes



【退職】

看護助手	佐藤 玲	平成29年6月20日付
看護師	松味 弘美	平成29年6月30日付
看護助手	平田 敦子	平成29年6月30日付
看護師	浦西 亜友美	平成29年6月30日付
看護師	上田 優希	平成29年6月30日付
臨時主事	村田 有里奈	平成29年7月19日付

【採用】

視能訓練士	岡田 康祐	平成29年6月1日付
臨時調理助手	中野 孝子	平成29年6月1日付
臨時調理助手	中村 美紀	平成29年6月5日付

舞鶴赤十字病院理念

赤十字理念「人道・博愛」のもと、一人ひとりにやさしさと思いやりをもって、いのちと健康、尊厳を守り、地域医療に貢献します。

基本方針

- 1 地域医療の中心的役割を果たすために、救急体制を整備し、安全で質の高い医療を提供します。
- 2 地域の中核病院として、他の医療・保健・福祉施設と協働し、地域医療連携の推進に努めます。
- 3 赤十字の使命である災害救護に貢献します。
- 4 健全で合理的な病院経営に努めます。
- 5 快適な医療・療養環境の整備に努めます。
- 6 職員は常に研修・研鑽に努め、病院はこれを支援します。



人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

[Topics]

ピックアップ



まいづる田辺城まつりに参加しました

総務課 主事 佐藤 史昌
さとう ふみあき

平成29年5月28日(日)に田辺城跡舞鶴公園にて開催された、第26回まいづる田辺城まつりに赤十字ブースを出展しました。

ブースでは赤十字の活動を示したパネルの展示や、オリジナルデザインの缶バッジ作成、子ども救護服の着用体験や、赤十字のマスコットキャラクター ハートラちゃんとの記念撮影などを行い、たくさんの方にご来場いただきました。また、ボーイスカウト舞鶴の方々による赤十字活動資金の募集も行われ、たくさんの方にご支援いただきました。

前夜祭と合わせると2日間で2万5千人の来場(主催者発表)があり、地域の皆さまに赤十字の活動を知っていただける良い機会となりました。



世界禁煙デーのイベントを行いました

禁煙外来 看護師 今井 美香
いまい みか

5月31日は世界保健機関(WHO)で定められた「世界禁煙デー」です。当院でも中丹東保健所とともに、外来エントランスホールで、タバコが体に与える害についての啓蒙活動を行いました。

模型やポスター、受動喫煙の危険についてのリーフレット、呼気中の一酸化炭素濃度測定体験など、多くの方に興味を持ってもらうことができました。

タバコは呼吸器疾患だけでなく、高血圧、心疾患、糖尿病など様々な病気を引き起こします。また、その害は喫煙者だけでなく、周りの人にも及びます。

タバコの主成分であるニコチンは依存性が強く、「タバコをやめたい」という気持ちはあってもイライラするなどの離脱症状の影響で、最後まで一人でやりきることは難しい場合があります。当院では、禁煙を目指す方を全面的にサポートする「禁煙外来」を、隔週水曜日、完全予約制で行っています。

自分のため、そして大切な家族のためにも、ぜひ禁煙にチャレンジしてみましょう。

禁煙外来のお問い合わせ 医療社会事業課 直通: ☎0773-75-1920



日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練に参加して

病棟係長 網木 右介
あみき ゆうすけ



日本赤十字社第4ブロック救護員指導者協議会で企画運営している赤十字救護班による訓練が、平成29年6月17日(土)京都府京丹波町にある丹波自然運動公園を会場に開催されました。

この訓練は、近畿圏内(第4ブロック)の赤十字救護班による合同訓練として本年度で23回目となりました。今回当番である京都府では日本赤十字社京都府支部を中心とし、赤十字の各施設の役員が統括運営し「三峠断層を震源とする直下型地震の被害」を想定しての訓練を行いました。当院からは救護班(医師1名、看護師3名、主事2名、薬剤師1名)と運営スタッフとして4名が参加しました。赤十字関係機関(看護専門学校、奉仕団、防災ボランティア)、京都府、京丹波町、京都中部広域消防本部、陸上自衛隊、近隣の社会福祉協議会なども参加され、本番さながらの訓練となりました。

訓練では、他施設の救護班と合同でチームをつくり、救護所での医療救護訓練や避難所への被害状況アセスメントなども行われました。当院と多可赤十字病院の救護班はトリアージにおける黄色(準緊急:治療の必要はあるが待機は可能)と判定された傷病者を手当する救護所を担当しました。救護所には多くの模擬傷病者が殺到し、本部への連絡調整や、被災者の状況を把握する作業に四苦八苦する場面もありました。本部や他機関との連携・調整等について課題は残ったものの、訓練の難しさや必要性を改めて再確認できたことは、今後の救護活動において参考となる有意義な訓練となりました。

平成29年度 糖尿病教室予定 会場：舞鶴赤十字病院 東館1階講堂

毎月第3水曜日
13時30分から

お問合せは 医療社会事業課／健診センター (TEL 0773-75-1920) まで

月日	内容「テーマ」	担当者
8月16日(水)	知って得する薬の話 ～正しく薬を飲むために～	薬剤師
	シックデイ ～シックデイって何?～	看護師
9月20日(水)	糖尿病網膜症 <15時～>	八木眼科部長
10月11日(水) 《第2水曜》	メタボリックシンドロームになりにくい 「6つの健康習慣」	角出認定看護師
	糖尿病と足病変 ～フットケアの重要性～	看護師

舞鶴赤十字病院では、定期的に医師や看護師等による糖尿病教室を行っております。当院に通院されていない方でも結構です。よいコントロールを続けるために是非ご参加ください。
※本年度は食事体験の実施はありません。ご了承ください。
※都合により会場・時間が変更になる場合があります。

当院は舞鶴市乳がん検診実施医療機関です！



平成29年7月から平成30年2月末までの間、舞鶴市乳がん検診が実施されています。当院は、女性技師によるマンモグラフィの撮影が可能です（曜日指定あり）。希望の方は下記へお電話ください。

医療社会事業課／健診センター（直通：☎0773-75-1920）

女性技師希望の方は、電話でお伝えください。

※業務の都合により、男性技師が撮影を担当する場合がございます。ご了承ください。

イキイキ 読者のコーナー

読者の皆様からの、短歌、俳句、川柳、詩、写真などを掲載させていただくページです。投稿ならびにお問合せは、医事課 升本までお願いします。なお、作品には、住所、お名前、電話番号もお書き添えください。



風薫る 曾孫に添って 乳母車
雷鳴に 今日 ゆっくり 充電す
市内桑飼上 佐藤 英子様

俳句「作者50首順」

馬鈴薯も新玉葱も荷に送る四十路すぎても子供はこども
「夕子」とふ京都のみやげハツ橋に想ひだしをり京に在りし日
市内紺屋 中嶋 洋子様

誰もいぬ夜更けかそかな音親し ゴキブリひとつ棧をはいおり
息ひそめ歩む古利の鴨居の上わが家と同じゴキブリ団子
市内余部上 瀬野 幸子様

久々に 十年前の つれづれ紀 心の喜憂 映す筆跡
年令を重ねることは たくさんの 思いで作る 我が宝物
市内桑飼上 佐藤 英子様

新緑の生垣に囲まれ畑仕事思はぬ間近にうぐいすの啼く
農道の耕運機のわだちに昨夜の雨たまりて今朝は青空映す
市内京田 上羽 玉枝様

短歌「作者50首順」

舞鶴赤十字病院 外来診療担当医表

平成29年8月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間	診察開始時間	備考	
内科	新患 (予約外)	休診	米山 (午前)	安威 (午前)	休診	休診	7時45分～11時30分	8時45分	
	再診 (予約)	米山 安威	西田	西田	西田	西田 米山	予約制	//	
	専門外来 (予約)	《糖尿病外来》 福田	《療養指導外来》 糖尿病看護 認定看護師	《禁煙外来》 担当医	《フットケア外来》 糖尿病看護 認定看護師		予約制	月曜 10時30分 火曜 9時 水曜 14時 木曜 9時 《糖尿病外来》紹介状を地域連携窓口 に持参し予約の相談をください (電話予約不可) 《療養指導外来》初回は外来を受診 し予約(電話予約不可) 《禁煙外来》診察は隔週、予約受付 は平日の14時～16時(電話予約可) 《フットケア外来》初回は外来を受診 し予約(電話予約不可)	
消化器内科	新患	酒田 (午後、予約制)	休診	休診	雨宮 (午後、予約外)	休診	月曜 予約制 木曜 12時30分～15時	13時20分	
	再診 (予約)	休診	雨宮 (午前)	休診	休診	酒田 (午後)	予約制	火曜 9時 金曜 13時20分	
神経内科	予約		堀尾		徳田		予約制	火曜 9時 木曜 10時30分 予約受付は平日の14時～16時(電話 予約可、完全予約制)	
小児科	午前	世良	世良	世良	世良	世良	7時45分～11時30分	8時45分	
	午後	世良	世良	世良	世良	世良	13時～15時30分	14時	
外科	午前	1診	矢野裕	山下/木/下	加藤	加藤	(乳腺内分泌外来) 藤原	7時45分～11時30分	8時45分
		2診	伊藤				矢野裕	//	//
	午後					(肛門外来) 加藤	(乳腺内分泌外来) 藤原	12時～15時	13時30分
専門外来 (予約)	(ストーマ外来) 専任看護師						予約制	9時 初回は外科外来を受診し予約(電話 予約不可)	
整形外科	午前	1診(新患)	片山 (新患15人まで)	松木	中瀬/仲川 (1-4週)(2-3-5週)	松木	中瀬	7時45分～11時30分	8時45分
		2診(予約)	仲川(新患)	仲川	片山/中瀬 (1-3-4週)(2-5週)	片山	仲川	//	//
		3診(予約)	中瀬		松木 (1-2-4-5週)			予約制	//
		4診(予約)	松木					//	//
	午後	1診(予約)	片山					予約制	13時30分
		2診(予約)			片山/中瀬 (1-3-4週)(2-5週)			//	//
3診(予約)				松木 (1週)			//	//	
専門外来 (予約)				(WOC外来) 皮膚・排泄ケア 認定看護師			予約制	9時 診察は第3水曜、初回は整形外科を 受診し予約(電話予約不可) 水曜日は祝・祭日の週は週数に数えませ ん	
皮膚科	午前	辻井	辻井	辻井	辻井	辻井	7時45分～11時30分	8時45分	
	午後	辻井	隔週褥瘡回診	手術	手術	辻井(予約)	12時～16時	14時30分	
泌尿器科	午前	上野		北森	宮下		7時45分～11時30分	月・水曜 8時45分 木曜 9時30分	
眼科	午前	1診	八木	堀内	八木	八木	担当医	7時45分～11時30分	8時45分
	2診	堀内		堀内				//	//
午後	検査レーザー			検査	コンタクト外来		12時～14時30分 (コンタクト外来のみ)	13時30分	
耳鼻咽喉科	午後	大西				二之湯	13時～15時30分	14時15分	

※予約の有無に関わらず受付が必要となりますので、必ず診察券をご持参ください
(初診の方は、新患窓口で診察券を作成しお渡します)

※予約変更のお電話は平日の14時～16時にお願ひします

編集後記



今年も暑い日が続きますね。湿気が多いジメジメした暑さが年々辛くなってきています……。辛い中でもこの時期は、可愛い可愛い夏生まれの姪っ子達のお誕生日なので、日頃の暑さを姪っ子達への愛情にかえて思いっきりお祝いしてあげようと思います。

みなさんも暑い毎日ですが、体調を崩されないようにしてくださいね。
A.K

読者の皆様へ

紅鶴編集チームでは、皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。官製はがきか、病院備え付けのご意見箱に「紅鶴について」とお書き添えの上、お寄せください。どんな些細なことも結構です。よろしくお願ひいたします。



紅鶴設置場所のご案内

当院外来受付に設置しております。数に限りがございますので、予めご了承ください。なお、当院ホームページから過去分も含め、PDFでご覧頂くことも可能となっております。

紅鶴
第84号

題字 名誉院長 横田 敬
発行所 舞鶴赤十字病院
舞鶴市宇倉谷427 TEL.0773-75-4175
ホームページアドレス <http://maizuru.jrc.or.jp/>
発行日 平成29年(2017年)7月26日

発行責任者 院長 西田 和夫
編集 大田 悦子、小島あかり、佐藤 史昌、里見紀久子、
竹内 隆志、谷内 好美、升本 陽介、水嶋 祐史
(50音順)
印刷 株式会社コザイ印刷 TEL.0773-75-1475